

自動翻訳、自動通訳

IT専門サポーター 鵜野 昭二

(ITコーディネータ、有限会社フレバー情報システム 代表取締役)

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

ここ数年で外国人観光客の数が大幅に増えたことは明らかです。姫路も姫路城を中心に多くの外国人観光客が訪れています。先月、私が訪れたある温泉宿の街では8割方が外国人と土産物屋の方が言われていました。働き手が不足している中、外国人労働者の数も増えてきます。2020年の東京オリンピックも控えており、今後外国人と接する機会は増えてきそうです。そんな時自動通訳してくれるツールがあれば便利です。

AI（人工知能）の進歩によりパソコン、スマホによる翻訳、通訳のレベルも大幅に上がりました。

自動翻訳についてはGoogle翻訳が有名ですが、Google翻訳も約1年前にAIを利用した翻訳に切り替えてから精度が大幅にアップしました。又Google翻訳にはスマホのカメラを通して文字を翻訳してくれるリアルタイム翻訳という機能もあり、海外旅行の時に重宝しそうです。国内では公的な研究機関の情報通信研究機構（NICT）という所が開発した@TexTra®という自動翻訳サイトがあります。アプリではなくweb上で動作するのでインストール不要で利用できます。

この翻訳の特徴は例えば日本語を英語に翻訳した時、翻訳された英語から日本語に逆翻訳して表示してくれるので変換の精度を確かめることができます。

次に自動通訳については現在専用の翻訳端末（イリー、ポケットーク等）や上記のGoogle翻訳、NICTのVoiceTra（スマホアプリ）などが利用できます。いずれのサービスも「便利」、「まったく使えない」など評価はバラバラのようですが現時点ではいずれも満足のいくレベルには達していないことは事実のようです。しかし現在の技術の進歩の速さを考えると東京オリンピックには間に合わないかも知れませんが近い将来、日常的に同時通訳が利用できるようになることは確かです。

翻訳、通訳機能が確かなものになれば外国語の学習の目的も変わってくると思います。英語をすべて自分で話すことが必要な人は今まで通り英会話の勉強をすればいいし、そうでない人は自動翻訳を積極的に活用して、浮いた時間を別のことに回せばいいと思います。いずれにしても今後の自動翻訳、通訳の世界に注目したいと思います。



IT相談窓口

IT専門サポーターがITに関するギモンや課題にマンツーマンでアドバイスします。

毎週木曜日 9:00～17:00

1月は、10日(木)、17日(木)、24日(木)、31日(木)開設予定です。

※都合により、日程を急遽変更する場合がございます。

予約制・無料



お気軽にお問合わせください。

姫路ものづくり支援センター（姫路商工会議所・姫路市）

TEL 079-221-8989 **FAX** 079-222-6005 **メール** kougyou@himeji-cci.or.jp